

建設現場でのやりがいに関する4つの取組方針案

～地方整備局で展開するための具体案～

国土交通省

大臣官房 技術調査課

建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会による4つの提言案(R2.1月)

■提言案は「リブランディング」にフォーカス、検討・作成されて、以下の方針案がまとめられている

建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがいの向上



○ 建設現場の担い手の確保に向け、魅力ある建設現場としていくため、発注者、元請け、下請け企業らが共通の目標の下、一体的な取組を推進するため、提言書を取りまとめ。

方針案(施策案)	施策内容の例
(1) 全国展開の施策(4施策)	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応における着用物の統一化 工事銘板による技術情報の発信 女性活躍の推進 建設現場のイメージ映像の配信
(2) 点から面となった取組へ～官民一体となった体制の構築～	<ul style="list-style-type: none"> 上記の4施策について、受発注者が共通の目的やコンセプトの下、一体となって必要な施策を推進する体制を構築し、受発注者が一体となって継続的な取組として長く続くよう工夫していく
(3) 各地域ブロック単位での取組・施策	<ul style="list-style-type: none"> 工事現場の仮囲い、技術者等の表彰、建設業の魅力発信
(4) 他業界とのコラボレーション・土木学会との連携	<ul style="list-style-type: none"> IT、健康・清涼飲料水業界等のコラボレーション ドラマのロケ地での使用

官民による推進母体での施策推進

- 全国展開の施策**
- ① 災害対応における着用物の統一化
 - ② 工事銘板による技術情報の発信
 - ③ 女性活躍の推進
 - ④ 建設現場のイメージ映像の配信

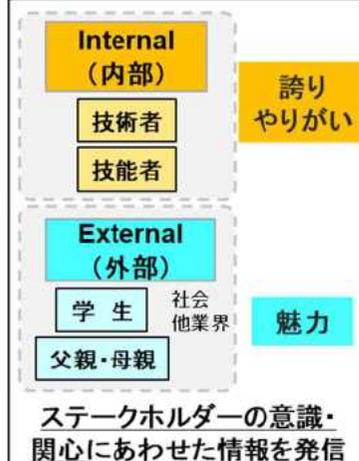
- ① 地域の安全・安心確保や社会貢献できる「誇り」を共有
- ② 工事に携わった関係者の「誇り」と「やりがい」の向上



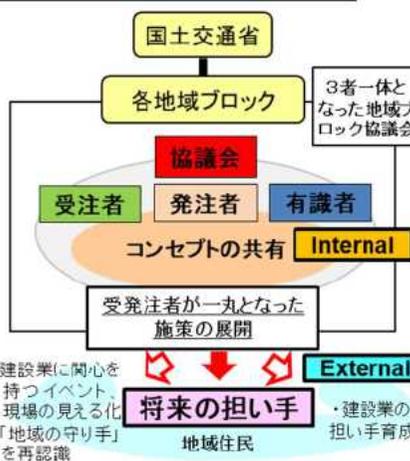
ブロックで取り組む施策



情報発信にあたっての重要な視点～ターゲットの明確化～



点から面となった取組へ～官民一体となった体制の構築～



※ 出典: 国土交通省HPより引用

災害対応における着用物の統一化等

- 災害に一丸で取り組む姿勢の発信として、行政機関・建設業・建設コンサルタントが統一着用物の導入

工事銘板による技術情報の発信等

- QRコードを用いた工事完成までの映像を発信
- 工事関係者を映画のエンドロールの様に流して紹介

女性活躍の推進の発信等

- 快適トイレ等のハード整備
- けんせつ小町、ロールモデルの発信等のソフト整備

建設現場のイメージ映像の発信等

- 建設業の仕事がイメージできる映像を国で集約し一元的に配信

各ヒアリングで出た主な意見

【共通意見】

R4.10月の各地整ヒアリングの意見

- 全国的に4施策に係わる取組事例が比較的少ないため、4施策について改めてその必要性を認識するとともに更なる周知徹底を図ることが重要。
- 4施策に関するテーマの継続を意識しなくても、受発注者ともにやりがい向上に繋がる取組を工夫して行っていた。
- 「リブランディング」などの横文字が多いため、分かりやすい言葉や発信方法が望ましい。

【4つの個別施策への意見】

R4.10月の各地整ヒアリングの意見

- ビブス等による着用物の統一化は一目瞭然で建設業者の活躍が分かり、統一感をもって災害に対応できる。
- 工事銘板の取組(技術者名の記載等)は進んでいる。
- 女性の定着促進に向けた建設産業行動計画(令和6年目標)に向けて、快適トイレの設置や女性技術者の活躍等の取組は進んでいる。
- 建設現場のイメージ映像の発信は、自社のPR等として受注者側で作成されているケースが多い。また、発注者側でも一括化して配信する取組などは進んでいる。

R5.1月の4協会(全地連、建コン協、全建、全測連)へのヒアリングの意見

- 協会で作成し配布しているが、なかなか着用が進んでいない。建設業の取組として、一般の方に対する認知の在り方について検討する必要がある。また、TEC-FORCEを通した発信もうまく活用したほうが良い。
- 工事銘板等は更なる改善案としてQRコードを使った情報発信等、業界としての取組も必要。
- 女性活躍に資する取組は進んでいるが、より良い職場環境の整備と併せて更に工夫して発信する必要がある。
- 情報を一元的にまとめることは良いと思う。何をターゲットに広報するかを明確にする必要がある。

【今後の方向性】

建設業界全体でやりがいに繋がる良い取組を共有し、更なる行動に繋げていく

具体案①: 業界との意見交換会や記者発表等で取組内容や好事例を発信し、受発注者間の相互理解と展開の促進を図る。

具体案②: やりがい4施策の展開に向けた共通ポスターを作成することで、内外(関係者・第三者の双方)へのアピールを図る。



災害対応における着用物の統一化等

- ・ 災害に一丸で取り組む姿勢の発信として、行政機関・建設業・建設コンサルタントが統一着用物の導入

【展開が可能な施策の具体案】

- ① 災害対応時のビブス等の統一的な着用。
- ② 災害対応時のリアルタイムでの活動をHPやSNS等で発信。
- ③ 一目で地域の守り手(建設業界)としてわかるような格好いいデザインの作業服を着て活躍(例えば、災害対応時において、「一体感」や「安心感」を感じるデザインの作業服を着用)。

◎ 災害時(通常時も含む)に外部の人が現場で働く人を見た際、使命感や責任を持った建設業界として、イメージアップに繋がるような取組を推進する。

災害対応における着用物の統一化等

①ビブス等の統一的な着用

各地方整備局や各業界団体等でビブス等を準備し、災害対応時の着用を徹底する。さらに、将来的には建設業界として統一的なビブス等を製作し、災害対応時に一斉に着用することで、建設業界としての存在意義の証明や他者への役割の明確化を図る(例: 自衛隊や消防団)。



②TEC-FORCEの役割及び活動範囲の明確化

TEC-FORCE隊の広報・ロジ班が、ビブス等を着用した地域の守り手(建設業界)のリアルタイムでの活動状況(真っ先に駆けつけての対応状況や被災状況等)も併せて内外(関係者・第三者の双方)に発信することで理解促進を図る(例: TEC-FORCEの特設ページやSNS等を使って配信)。

【ポイント】被災状況や建設業界の地域貢献を正確に伝える。



③デザインを介して、他業界とのコラボによる付加価値(機能性等)を持った着用物の製作及びイメージアップ

災害時、通常時を問わず、着用物の工夫を活かす取組を推進例(災害時): 各自治体とミズノ社(スポーツメーカー)の共同で防災服をリニューアル



③デザインを介して、プロジェクトや有名人とコラボした斬新なデザインの着用物を通じたアピール

災害時、通常時を問わず、着用物の工夫を活かす取組を推進例1(通常時): 全国建設業協同組合連合会と東京モード学園の共同で開催したユニフォームデザインプロジェクト
例2(通常時): 日建連けんせつ小町のプロジェクトで有名人と共同してユニフォームをデザイン(YouTubeでアップ)



工事銘板による技術情報の発信等

- QRコードを用いた工事完成までの映像を発信
- 工事関係者を映画のエンドロールの様に流して紹介

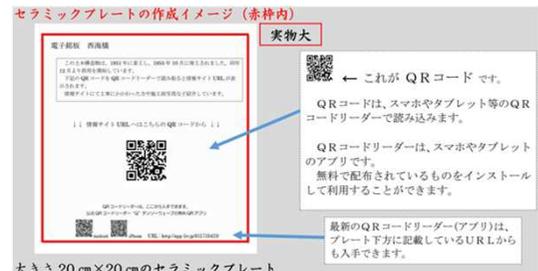
【展開が可能な施策の具体案】

- ①電子銘板(QRコード等)を使った技術情報の発信。
例:道の駅や展望台等への電子銘板(QRコード等)の設置。
- ②電子銘板(QRコード等)を使ったwebアンケート等の実施。

◎電子銘板(QRコード等)を活用することで、多くの人(特に若者)に建設工事に関連する幅広い情報が目に触れるとともに、情報を見た側の反応やアクセス数等を見える化することで、建設業界の今後のあるべき方向性の検証、外部の人に対するイメージアップや意識の醸成を図る。

工事銘板による技術情報の発信等

①電子銘板(QRコード等)やセラミックプレートを使った技術情報の発信



セラミックプレート使用の例



↑セラミックプレート等に印字したQRコードから読み取る方法

セラミックプレート等に記載された情報とQRコードから読み取る方法 →

①道の駅等の公共の場に電子銘板(QRコード等)を導入(例:観光情報)

道の駅を拠点としたドライブ観光促進の枠組み

別紙 「世界の北海道」を目指して 北海道観光開発計画

国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

ウオゾイ

令和3年3月22日

道の駅から観光情報を発信します

～スマートフォンでQRコードを読み取って道東地域を周遊！～

「道の駅を拠点としたドライブ観光促進」は、地域の観光情報(街・コア情報)を道東地域の道の駅から情報発信する取り組みを3月22日から開始します。
道の駅の利用者等を対象に地域の魅力ある観光情報(観光施設やイベント情報等)をQRコードの読み取りで情報発信を行い、道東地域のさらなる周遊を促進していきます。
情報発信は道東地域の道の駅13か所で、別紙ポスターやQRコードが印刷されたフライヤー(日本語・英語版)を配布します。また、観光スポット・集約コンテンツ等は、Googleマップの観光情報の追加により、インバウンド観光の促進を図ってまいります。
(情報発信予定) 道東地域の道の駅13か所
配布場所 道東地域の道の駅11か所、観光案内所等2か所の計13か所

道の駅を拠点としたドライブ観光促進の枠組み

北海道開発局(事務局) 道の駅(情報発信拠点10カ所) 20市町村の行政・観光協会・シーニックバイウェイ等の広域連携のもと、地域特有の観光情報を情報発信拠点とする道の駅に集約し、観光客に対して周辺情報を一元的に発信することで、周辺地域の更なる周遊を促進

道の駅を拠点としたドライブ観光協議会(令和2年度～)

北海道開発局(事務局) 道の駅(情報発信拠点10カ所) 20市町村の行政・観光協会・シーニックバイウェイ等の広域連携のもと、地域特有の観光情報を情報発信拠点とする道の駅に集約し、観光客に対して周辺情報を一元的に発信することで、周辺地域の更なる周遊を促進

道の駅(情報発信拠点10カ所) 体験、買物、情報収集等の多様な目的で観光客が立ち寄る道の駅の特徴を活かし、観光情報等の一元的発信による周辺地域への外国人旅行者等の誘導

20市町村の行政・観光協会・シーニックバイウェイ等の広域連携のもと、地域特有の観光情報を情報発信拠点とする道の駅への提供および観光客への誘導

デジタル化した道東周遊観光の紹介

道の駅の情報発信機能の強化並びに周辺地域の情報発信機能の創出及び外国人旅行者の周遊観光促進が期待されるインバウンド対策の強化をテーマとして、道の駅と地域とともに育つ新たな広域連携の枠組みの構築を企図

取組内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度～
情報発信拠点	道の駅摩周温泉(1箇所)	道の駅(10箇所)	道の駅(11箇所) + 観光案内所等
対象地域	道東地域(14市町村)	道東地域(20市町村)	道東地域(20市町村)
方策	観光情報の掲示(英語版※日本語を一部含む)	観光情報の掲示・配布(英語版)	観光情報の掲示・配布・配信(英語版・日本語版のデジタル化を併用した観光情報)

②電子銘板に設置したQRコード等を使ったwebアンケートの実施(外部の人の反応や効果を検証)

【補足】QRコードを活用した「道の駅」モニタリングシステム概要

道の駅「伊達の駅りょうぜん」に関するアンケート

一般の方向けアンケート

アンケートフォーム

スマートフォンで使用する際は左側のQRコードからアンケートに答えられます。PCで使用する方は下記URLからアンケートに答えられます。
<https://forms.gle/Sje9nK3hoZdLAKW4>

※どちらも同じアンケートフォームにつながっております。

図「道の駅」満足度調査 スマートフォン アンケート回答画面①

②電子銘板に設置したQRコード等を使った付加価値(ポイント等)の創出(例:エコ活動、健康活動)

配信中 **いちエコ** アプリ

毎日エコを取り入れて、ポイントもらっちゃお。

暮らしの中のCO2排出量を見える化

エコスポットでポイントGET!

クイズに答えてポイントをもらおう!

いますぐ無料ダウンロード

健康アプリとして、達成して獲得したポイントを交換 ←エコアプリとして、知って学んで実践しながら活用

女性活躍の推進の発信等

- ・ 快適トイレ等のハード整備
- ・ けんせつ小町、ロールモデルの発信等のソフト整備

建設現場のイメージ映像の発信等

- ・ 建設業の仕事がイメージできる映像を国で集約し一元的に配信

現状：ハード整備、ソフト整備ともに進んできている

【更に施策を進めるための展開が可能な施策の具体案】

- ①HPで集約された動画、イベントやカード等を使った発信方法の工夫
 - ②建設業の魅力・やりがいを実感できる機会の創出等による発信
 - ③HPや動画共有プラットフォーム(YouTube等)で取組を一元化して配信
(業界でもスムーズに水平展開を行うためのPDCAサイクルの確立)
- ※①～③によって、一般の方々をターゲットにした様々な取組を発信

⇒次項より、全国に展開可能な具体案及び水平展開のイメージを提示

女性活躍の推進及び建設現場のイメージ映像の発信等

①HPで集約された動画、イベントやカード等を使った発信方法の工夫

他産業と合わせて魅力を発信



イベント等を通じた発信



カードを使った発信



②建設業の魅力・やりがいを実感できる機会の創出等による発信

出前授業を通じた発信



バーチャル現場見学会による発信



③HPや動画共有プラットフォーム(YouTube等)で取組を一元化して配信(業界でもスムーズに水平展開を行うためのPDCAサイクルの確立)

一元化の配信イメージ(国交省HP)



一元化の配信イメージ(日建連YouTube)



※ 出典: 参考資料を参照